

2 個別事業評価調書

団体名： 笠置町

事業名		庁舎内LAN整備事業					
事業の概要	<p>財源不足を解消するために様々な経費削減策を講じていますが、その中でも義務的経費である人件費のうち、職員に係る人件費については従前より削減に努めてきました。また、職員数削減についても、平成18年3月に策定した「笠置町集中改革プラン」の目標数値として、平成17年度～平成22年度にかけて職員数10%削減(5名削減)する方針を大きく上回る7名減(平成19年度末)を達成しました。</p> <p>しかしながら、職員の業務は以前と比べて減っているわけではなく、少ない職員数で何とか勤めを果たしている状態にあります。そのため、事務の効率を向上させ、職員の事務軽減を果たし、安定した行政運営体制を築く必要があります。</p> <p>そこで、現在職員の事務の中心を担っている電子機器の整備として庁舎内LAN整備を実施し、更なる事務効率化を図りました。</p>						
	事業期間	平成19年9月7日～平成20年3月31日					
	総事業費	2,187千円	本年度事業費	2,187千円	交付金交付額	913千円	
事業評価	事業の必要性	<p>現在1MBを超える容量の電子ファイルのやり取りが頻繁にある業務も少なくなく、日常業務においてパソコンはなくてはならないツールとなりました。</p> <p>一方、現在職員の使用しているパソコンは、各課おのおのでのシステム構成となっており、電子機器の共有の問題、電子ファイルのやり取りに係る時間の問題による経費負担増が発生している状況である。</p> <p>そのため、庁舎内の職員のパソコンをLANにて構築し直すことで職員間の伝達機能を向上させ、事務効率改善を図ることができます。</p>					
	事業の有効性	<p>LGWAN整備事業によって整備された光回線を活用することにより、職員のパソコンのインターネット回線を現在のADSL通信から光通信へと変更することにより、京都府への報告文書や出先機関への電子ファイルのやり取りの即応性、利便性を高めることができます。</p> <p>また、電子機器の共有化をすることにより、各課に設置していないカラープリンターへの接続を可能とし、事務管理状況の向上を図ることができます。</p>					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果	<p>電子メールでの送受信体制等が飛躍的に向上しているため、日常業務にある報告・照会文書における内容が膨大な量の電子ファイルのやり取りであってもスムーズに処理することができるため、事務に要する時間が短縮され、事務効率が上がりました。</p>				
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
	5 行財政改革に資する成果						
	6 その他の成果	<p>LAN整備を講じたことにより、今後の発展性として公用車の利用状況、電子決済をはじめとした様々な活用を検討し、更なる事務効率の向上に努めたい。</p> <p>また、想定外事項ですが、今年度プリンター1台が不具合を生じたときに、今までであれば電子ファイルを電子媒体によって移動させて対応していたものが、LAN構築によって即時に対応できたことがあり、電子機器を使用した事務の緊急性にも応じています。</p>					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。